

採点方法

建築関係コンサルタント名簿（総合評価点順位）は、沖縄市契約管財課における測量及び建設コンサルタント等入札参加資格審査申請書の提出に合わせて作成予定のため、令和 5・6 年度の測量及び建設コンサルタント等入札参加資格審査申請時点の情報を基本とし、自己採点方式とする。

I 経営事項

1. 資本金の評価

資本金（自己資金以外）の有無を評価する。

2. 営業年数の評価

令和 5・6 年度の測量及び建設コンサルタント等入札参加資格審査申請時点での営業年数とする。

3. 令和 5・6 年度の測量及び建設コンサルタント等入札参加資格審査申請時点で申請書に記載した年間平均実績高の額とする。

4. 申請月 1 日時点での取得状況について評価する。

ISO9001 と ISO14001 の両方の認証を取得している場合、それぞれについて加点する。

II 技術的事項

1. 資格者の評価

令和 5・6 年度の測量及び建設コンサルタント等入札参加資格審査申請時点での技術者数を基本とし、取り扱いは以下のとおりにする。

建設コンサルタントについては、採点の対象となる資格を建築士（1 級・2 級・木造・構造設計 1 級建築士）、建築設備士（建築設備士・設備設計 1 級建築士）、建築積算士、キャスビー建築評価員、耐震診断資格者、耐力度、電気工事士（1 種・2 種）、電気主任技術者、電気施工管理技士（1 級・2 級）、給水装置工事主任技術者とする。ただし、同一人が 1 級及び 2 級の両方の資格を持っている場合は、上位等級の 1 級の資格のみを採点の対象とする。

土木コンサルタントについては、土木施工管理（監理技術者・1 級・2 級土木・2 級薬液・2 級鋼構）、測量（測量士・測量士補）、下水道検定（1 種・2 種）、磁気探査

技士、技術士（各関係部門）、RCCM（各関係部門）、造園施工管理技士（1級・2級）、土地区画整理士、地質調査技士、土木学会認定土木技術者、港湾海洋調査士、電気工事士（1種・2種）、電気主任技術者、電気施工管理技士（1級・2級）、管工事施工管理技士（1級・2級）とする。ただし、同一人が1級及び2級の両方の資格を持っている場合は、上位等級の1級の資格のみを採点の対象とする。

2. 受賞の評価

令和5・6年度の測量及び建設コンサルタント等入札参加資格審査申請時点までの表彰を基本とし、平成26年度から令和5年度時点までの実績について評価する。

Ⅲ 地域貢献その他の事項

1. 市事務所会会員

建設コンサルタントについては、平成19年度よりの継続加入年数とする。

2. 各団体への加入

申請月1日時点での加入について加点する。

2. 市主催及び共催行事への協力（ボランティア活動）

令和2年度・3年度内での活動とする。

3. 市の表彰を受けた者

沖縄市表彰条例第3条第1号の表彰者

過去10年間（平成26年度以降）有効とする。

4. 研修等参加

令和2年度・3年度内とする。